

平成30年2月12日(月)

沖縄タイムス(19) 土地闘争の功績顕彰 土地連 桑江氏生誕100年祝う 諦めない精神 伝記本に 小学校などに寄贈

土地闘争に尽力した故・桑江朝幸氏の生誕100周年記念事業祝賀会で功績をたたえる出席者=3日、沖縄市・日本プライダルセンター



土地闘争の功績顕彰

土地連 桑江氏生誕100年祝う

【沖縄】県軍用地等地主会連合会(土地連、真喜志康明会長)は3日、市内で「桑江朝幸生誕100周年記念事業」の祝賀会を開いた。米軍に接収された土地の賃貸料の支払いを求めて軍用地主の権利回復など土地闘争に

尽力した故・桑江朝幸氏をしのび、会員や関係者らが功績をたたえた。

桑江氏は同会の初代会長を務め、沖縄市長などを歴任した。真喜志会長は「桑江氏の

小学校などに寄贈



【中部】県軍用地等地主会連合会(真喜志康明会長=写真左)は、同会の初代会長を務め沖縄市長などを歴任した故・

桑江朝幸氏の生誕100周年記念事業の一環で、伝記本「桑江朝幸物語」を制作し、8日までに県内の小学校や市町村立

図書館に寄贈した。
伝記本は全56ページ。米軍に接収された土地を沖縄の人々の土地だとして、米軍による買い上げに反対するなど土地闘争に尽力した桑江氏の功績を描いた。

同会の金城早苗さん=同右=は「子どもたちにできるだけ分かりやすく伝えるためにオリジナルキャラクターを登場させ、読みやすいように工夫した」と話す。

真喜志会長は「桑江氏の粘り強く、諦めない精神や軍用地(地主)の歴史、活動などを若い世代に知ってほしい。30代で土地闘争に身を投じた活動は素晴らしい、後世に伝えていきたい」とPRした。伝記本は同会のホームページ上でも公開する予定。同事業ではDVDや紙芝居も制作した。

指導の下、地権者をはじめ住民が団結し、基地の使用料を求めて運動してきた。先生なくして現在の地権者の生活はなかつただろうと思います。生涯沖縄のために尽力された」とあいさつ。生誕100周年を契機に「駐留軍用地等に関する諸問題の適正解決や地主の財産権利擁護に取り組んでいく」と述べた。

朝幸氏の次男で沖縄市長の桑江朝千夫さんら親族も出席。父朝幸氏の功績をまとめた回顧録や写真集を同会から贈られた。出席者に寄贈した。朝千夫さんは「いまだに桑江朝幸が皆さまの心の中にあり、大事にしていただいていることに心から感謝を申し上げ、感激している」とあいさつした。